

■大山の遭難防止活動



夏山遭難救助訓練

■大山は標高1,709mとそれほど高くはない山ですが、日本海に面した独立峰であるため、冬になると3,000m級の山と同様の厳しさを味わうことになります。残念なことに、大山では過去5年間(平成20年～24年)に44件の遭難事故が発生しており、事故者は55人、うち7人が死亡しています。

■安全な登山のために、大山に関する大山町等の行政機関、警察、自治会、大山旅館組合等で組織された「大山遭難防止協会」が、大山における山岳遭難事故の防止活動、捜索及び救助活動等を昭和30年代から行っています。また、鳥取県警察本部、八橋・米子・黒坂警察署で構成される鳥取県警察大山遭難広域救助隊も救助活動で活躍しています。



安全な登山となることを祈りながら。



春山広報活動(登山届の周知他)



大山冬山遭難防止対策会議

■大山の遭難防止活動 ~今日も、事故のないことを祈って~



遭難救助訓練



パトロール



登山道の調査と点検補修



遭難防止対策会議

広報活動 (登山届の周知他)

